

6, 活動の様子

今年も、宅間様のご厚意で、青空のもと、田植えをすることができました。

苗を持って一列に並び、宅間さんと春日さんが引っ張る紐に沿って、3～5本植えていきます。もう、皆さん慣れたもので、家族やお隣同士で話をしながら、40分ほどで植え終わりました。

「ここ、深くて、植えられないよ!」「足が、ぬけな—い!」といいながらも、終わってみれば、「もっと、うえた—い!」と意欲満々でした。

終了後、宅間さんから、いろいろ話をききました。

○なぜ、3～5本の苗を植えるのか?

「苗は、1本からたくさんの茎が伸びてきます。これを分けつといいます。この分けつを促すには、3～5本植えるのがいいようです。10本以上も植えてしまうと、もやし状態になり、稲穂が育ちません。」

○田んぼのどろどろは、どうやってつくるのですか?

「冬に、田の土を掘り起こします。太陽に当てることにより、害虫の予防にもなるようです。4月に、もう一度耕し、さらに水を入れて細かい泥状にします。これで、田植えの準備ができます。」

○耕作面積は?

「約20町歩(20ha)ほどです。他の農家の方から、”作ってくれ”と依頼がありますが、息子と2人ではこれで精一杯。それでも忙しくて、他の人に手伝ってもらっています。」

○稲の高温対策は?

「今、なんとかコシヒカリを栽培していますが、高温対策も考えています。高温対策の品種として、ニジノキラメキやニコマルを検討しています。農家の人には、水を深めて冷やすようにして、暑さ対策をとっている方もいます。」

○収穫したお米は、味は変わらないのですか?

「暑い夏は、そのままでは味は変わってしまいます。味を変わないようにするために、長期保存はもみのままにします。そして、冷蔵庫のなかで保存します。温度を低温にしておく、と、味はあまり変わりません。最大200俵を収納できる倉庫を持っています。」

田植え後の宅間さんとのお話は、お米のイメージをいろいろな角度から深めてくれました。

◎泥んこ遊び

田植えをしたすぐそばの一角で、子どもたちは泥遊びを楽しみました。

- ・りんちゃんは、田んぼのなかに、しっかりと腰をおろしていました。とても気持ちよさそうな表情で座っていました。
- ・ゆうきくん・みほさんたちは、田んぼの中を走り回って、カエルやヤゴを探していました。
- ・中1の直諒くんも、負けてはいません。田んぼを走り回り、「平泳ぎしたいな!」と、つぶやいていました。

◎苗のプレゼント

宅間さんのご厚意で、たくさん苗を分けてもらいました。

保育園では、この苗を使って、「田んぼ体験活動」をすすめるそうです。

「子どもたちに、田植えをさせてやりたい1」という、先生方の熱い願いがこめられています。

稲と子どもたちの関わりが、今から目に浮かぶようです。

○○○

○いちご狩り

- ・場所：グランベリー大地「空中いちご園」

茨城県常総市三坂新田町2383-2

電 話 0297-34-1514

入園料 大人1600円 小学生1100円 幼児600円

品 種 ・スターナイト ・おいCベリー ・かおり野

・あまおとめ ・恋みのり

14:00いちご狩りのスタートです。

のらえもんはD棟です。その巨大なハウスの中に入ると、なんと、いちごが空中からぶら下がっているのです。

ボタンひとつで、ちょうど目の高さに降りてきます。立ったまま、いちごを選んで口に運ぶことができます。

なんと漸進な！それまでの、腰をかがめてのいちご狩りとは、まったく違っていました。

制限時間40分、5種類のいちごを、いくらでも食べられるのです。

皆さんは、いくつ食べましたか？

ぶら下がっていると取り易く、泥などはまったく着いていないのでとてもきれいです。その上、いちご全体が赤く熟しているのです。

どの種類も、おいしい！

糖度を測ってみました。7.6 8.5 10.4 と、いろいろです。

春日さんが「形は台形で、先はとがっていないデコボコしていて平らないいちごが甘い」と、教えてくれました。

直諒くんが、そんないちごを見つけてきてくれました。

糖度を測ると、なんと11.2でした！「おおー！」と歓声が上がりました。

このハウスは、受粉用のマルハナバチ以外の虫が入らないように、そして温度はコンピューターで管理されています。

今までのいちご狩りとは大きくちがっていて、とてもエキサイティングでした。

「また行ってみたい！」と、思うのでした。

○○○

○ブルーベリーの苗のプレゼント

あすなろの里にトイレ休憩で立ち寄ったときのこと、ブルーベリーの苗を無料配布していました。「ラッキー！」と、いただけてきました。

今週（5月10～16日）は愛鳥週間で、「実を、野鳥と分け合ってお楽しみください」（茨城県猟友会）とのことでした。

7, ふり返りの感想

○きょうは、田うえをしていちごがりをして、とてもたのしかったです。
いちごにもいろいろなしゅるいがあって、すべて味がちがいました。
大きいいちごをたくさんみつけれられました。あまいのやすいぶんがたくさんあるがありました。
暑い日に 田うえをしたら どろだらけ

伊興小4年

○4回目の田植えになりました。
今回はフィリピンの親戚一家と参加させていただきました。
親戚の子にアドバイスをしながら楽しそうに田植えをする娘を見て、みんなで来れてよかったなと思いました。
イチゴかりも、たくさんの種類を食べることができて、とても満足することができました。

母

○田植えは、初参加でした。
子供たちが楽しんでいました。
コメの育て方が大変になってきたことがわかりました。
いちごの糖度が高いのにはびっくりしました。
いちごが、おいしかったです！

祖母

○久々に家族で日本に帰ってきて、家族でこのような体験に参加することができてよかったです。
田植えやいちご狩りを通して、体験だけでなく学びがあることもよき体験のひとつとなりました。
ありがとうございました。

○たうえが、たのしかったです。
いちごがりで、いろいろなあじがたべられて、すごくおいしかったです。
田うえで、こんどはいっぱいうえたいです。
たうえでは 色いろできて 楽しかった

新田小3年

○今年も、古高先生をはじめのらえもんの皆さん方と田植えをすることができ、感謝いたします。
田植えをするたびに、お米を作る大変さや田んぼがもたらす自然環境について、考えさせられます。
いただいた苗を、大切に園の子どもたちと育てていきたいと思います。
田植え後 田んぼで遊んで 泥だらけ

本木東保育園

○植え終えて並んで立てばそれぞれが水面に写る影のささやき
目の前の真っ赤ないちご口にして互いに微笑む空中いちご

古高 利男

○今回の田植えでは、去年は参加しなかったため、ひさしぶりの参加になりました。
どろで遊び、ふだんできないことをできてとてもたのしかったです。
田んぼの中 投げ合いをする どろだんご

新田中 2 年

○本日、2 回目の田植え体験、ありがとうございました。
本日は天候がよく、すばらしい日に田植え体験ができてよかったです。
また、いちご狩りはとっても楽しくおいしかったです1
泥の中 ペたペた進む 田植え道

加賀保育園

○昨年の稲刈りに引き続き、初めて田植えに参加させていただきました。
実際に植えてみて、農家さんへのありがたさを改めて感じる事ができました。
素敵な経験をさせていただき、ありがとうございました。
どろんこで 笑ってすすむ 田植えかな

加賀保育園

○毎回、楽しんで、田植えをしています。
時間もかからなくなっているようです。
いちご狩りは、食べくらべると、それぞれの味の違いが良くわかりました。
つり下がる イチゴの赤色 まぶしくて

加賀保育園

○泥の感触がとても気持ちよかったです。
参加させていただくのは何回目かになりますが、今回は一つ一つお米に対して
感謝の気持ちをこめて田植えできたと思います。
自然と生産者の方々、この機会をつくってくださったのらえもんの方々、全てに
感謝の気持ちです。
無事育ちますように！
泥の中 いのちを感じる 五月晴れ

加賀保育園

○年長担任ということで、初めての参加でしたが、とても楽しかったです。
小学生以来の田植えで、ドキドキワクワク、手足をどろどろにしながら泥の感触に
とても幸せな気持ちになりました。貴重な体験を、ありがとうございました。
泥だらけ 手足真っ黒 大充実

加賀保育園

○またこの季節に参加できたことは、うれしい事です。
泥んこに足が落ち込んでいく瞬間が、感動です。
いちごをお腹いっぱい食べて、久しぶりに満足できました。
「こしひかり」から「虹のきらめき」に変わるという自然環境も、考えさせられま
した。
幼さの弱い稲苗祈りつつ秋の収穫楽しみに待つ

西保木間保育園

○晴天の中、風も涼しく、おいしい空気を吸って、田植えができて、心身共にリフレッシュできました！！

裸足で田んぼに入る、あの土独特の感触も面白く楽しかったです。

そして、空中いちご狩りも、おいしく楽しく、また次回も参加したいです。

田植えして いちご狩りして いい休み

中央本町保育園

○今年も田植えが出来て良かったです。

ありがとうございました。

裸足で土を感じ、心地よかったです。

苺狩りはおいしく、たのしかったです。

あかあかと 可愛い粒の いちごかな

凜と咲く 苺の花の 美しさ

土の中 足に感じる 心地良さ

五月晴れ 稲を手に持ち 田植え楽しむ



中島根保育園

○天気もよく、仲間と一緒にする田植えは、とても楽しかったです。

風の心地よさ、空の広さに、ただただ癒されました。

稲刈りが、楽しみです。

田植えの日 毛蚕（けご）が生まれて 桑探す

上沼田保育園

○何年かぶりに田植えにまいりました。

古高先生が、変わらずお元気で安心しました。

田んぼのどろが足の指の間を通っていく感覚が、始めはい嫌なのですが、慣れてくると何ともくせになります。

いちごは「おい♡ベリー」が一番好きでした。

ありがとうございました。

みっばろと いちごめぐって 鬼ごっこ

梅田保育園

○今日の田植え、天気は快晴でした。しかし、気温は去年よりも低く、わりとすごしやすく、作業しやすかった。

苗を少量取るのが、すごくむづかしかった。

薄暑の陽 田に不器用な 指遊ぶ

HAL 東京 3年

○のらえもんに参加して長いのですが、田植えは初めてでした。

宅間さんのお話、「ここ最近、東京の空気がキレイなので、富士山が見える。日光連山も見える」などと言っていました。

人間は自然に対し敬愛をもって環境を大事にしていることが、少しわかりました。

ぐんぐんと そだて早苗と カエルの子

泥だんご 投げて遊ぶ 子どもたち

カメラ担当

田植え活動の歩み

回数	田植え体験 日時	もう一つの体験活動	参加者数
1	2010年（平成22年） 5月15日	茨城県自然博物館	66
2	2011年（平成23年） 5月 7日	いちご狩り、あすなろの里	55
3	2012年（平成24年） 5月19日	筑波山ハイキング	63
4	2013年（平成25年） 5月19日	ほうれん草とチンゲンサイの収穫 アサヒビール工場見学	77
5	2014年（平成26年） 5月18日	そらめめ収穫体験 アサヒビール工場見学	65
6	2015年（平成27年） 5月17日	いちご狩り 麒麟ビール工場見学	54
7	2016年（平成28年） 5月16日	いちご狩り アサヒビール工場見学	66
8	2017年（平成29年） 5月14日	いちご狩り アサヒビール工場見学	62
9	2018年（平成30年） 5月13日	いちご狩り 麒麟ビール工場見学	63
10	2019年（令和元年） 5月12日	いちご狩り アサヒビール工場見学	74
11	2020年（令和2年） 5月10日	コロナ禍のため、中止 いちごの販売42箱の協力	中止
12	2021年（令和3年） 5月16日	コロナ禍のため、中止	中止
13	2022年（令和4年） 5月 8日	いちご狩り 坂野家住宅見学	57
14	2023年（令和5年） 5月 7日	いちご狩り アサヒビール工場見学	45
15	2024年（令和6年） 5月12日	あすなろの里で休憩後 麒麟ビール工場見学	46
16	2025年（令和7年） 5月11日	令和の米騒動 アサヒビール工場見学	38
17	2026年（令和7年） 5月10日	いちご狩り グランベリー大地「空中いちご園」	51